

# 平成28年度 第39回全国高等学校柔道選手権大会群馬県予選 実施要項

主催 群馬県高等学校体育連盟 群馬県教育委員会  
主管 群馬県高等学校体育連盟柔道専門部  
後援 群馬県柔道連盟  
日時 平成29年1月14日(土) 午前10時開始 男女個人試合  
1月15日(日) 午前10時開始 男女団体試合  
会場 ALSOK群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館 第一道場  
前橋市関根町800 電話 027-234-5555

競技規定 国際柔道連盟試合審判規定による。

(1) 優勢勝ちの判定基準は、「有効」または「僅差」以上とする。  
※僅差は、団体試合は「指導差2」以上、個人試合は「指導差1」以上とする。

(2) 試合時間は3分(決勝のみ4分)とする。

競技方法

(1) 団体試合、個人試合ともトーナメント戦で行う。

(2) 男子団体試合

ア チーム間の試合は5名の勝ち抜き試合で行う。代表戦は個人試合に準ずる。

イ 試合ごとにオーダーの変更ができる。

(3) 女子団体試合

ア チーム間の試合は点取り試合とする。ただし、女子団体試合について、参加校が6校以下の場合、リーグ戦を行う。リーグ戦において、引き分けの場合は代表戦によって必ず勝敗を決する。代表戦は個人試合に準ずる。

イ 試合は各チーム3名で行い、試合ごとのオーダー変更は行わない。

ウ リーグ戦において、同点で1位となったチームが2チームの場合は本戦の結果による。3チーム以上の場合、代表戦をトーナメント方式で行う。

「技の内容」と「指導」の重みは以下の順とする。

一本勝ち=反則勝ち>技あり>有効>僅差

団体試合のチーム対チームの勝敗の決定は以下の項目に従って勝敗を決定する。

① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

② ①で同等の場合は、「一本による勝ち」が多いチームを勝ちとする。

※ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。

③ ②で同等の場合は、「技有りによる勝ち」が多いチームを勝ちとする。

④ ③で同等の場合は、「有効による勝ち」が多いチームを勝ちとする。

⑤ ④で同等の場合は、代表戦を行う。

※代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。

※代表戦の判定基準、実施方法は個人試合に準ずる。

(4) 男女個人試合

ア スコアも「指導」も同等の場合はゴールデンスコア方式(時間無制限)で必ず勝敗を決する。

引率・監督

(1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(ただし、公立学校にあっては教員とする。)

(2) 選手は必ず、当該校の引率責任者に引率され、引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。

(3) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

参加資格

(1) 参加選手は、本連盟柔道専門部に登録した者であって、平成10年4月2日以降に生れた者で1、2年生に限る。但し、同一学年での出場は1回限りとする。

(2) チームの編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。

(3) 転校後6ヶ月未満の者は出場できない。但し、一家転住の場合は特例として参加を認める。

(4) 参加選手は予め健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。

出場制限	<p>(1) 男子団体試合 1校1チーム 監督1名、選手5名、補欠1名、計7名とする。 選手2名以上でエントリーできる。</p> <p>(2) 女子団体試合 1校1チーム 監督1名、選手3名、補欠2名、計6名とする。 選手の配列は、先鋒：52kg以下、中堅：63kg以下、大将：無差別級とする。但し、体重の軽いものは重い階級に出場できる。また補欠は該当する階級に出場できる。</p> <p>(3) 男子個人試合 1校監督1名、選手各階級4名以内の計15名以内とする。(無差別の選手は他の階級を兼ねる事はできない) 階級は60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、無差別の5階級とする。</p> <p>(4) 女子個人試合 1校監督1名、選手の出場数は制限しない。 階級は48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、無差別の5階級とする。</p>
表彰	男女団体試合の優勝校に優勝カップ、1～3位校に表彰状を授与する。 個人試合の各階級1～3位に表彰状を授与する。
参加料	1チーム 3,500円 個人試合 1名 1,000円 大会当日に受付で監督が納入する。
申し込み	11月28日(月)までに必着。下記事務局にメールと郵送の両方で申し込む。 〒370-0861 群馬県高崎市八千代町2丁目4番1号 電話 027-324-0074 高崎高校 田中 利明 メールアドレス j2320j@yahoo.co.jp
組合せ会議等	12月7日(水)午後1時30分から県立前橋東高等学校(前橋市江木町800)で 常任委員会を行う。午後2時30分から常任委員、各校代表者で組み合わせ抽選を行う。
選手変更	個人試合の選手の変更は認めない。 大会前日の午後5時までに、委員長に連絡する。 団体試合の変更は、男子1名、女子1名を限度とする。伝染病その他天災による場合は特例を認める。 大会当日、当該校長の証明書、医師の診断書、柔道整復師の証明書のいずれかを委員長に提出する。
計量 受付 監督会議 その他	1月14日、午前8時30分～9時20分までに試合会場で行う。(時間内計量) 大会当日、監督が午前8時30分～9時20分までに行う。 大会当日、午前9時30分から第4会議室で行う。 (1) 選手は所定のゼッケンをつける。 (2) 大会当日、引率者は各自昼食を用意する。 (3) 全国大会出場権 団体優勝校並びに各階級優勝者は平成29年3月19日(日)・20日(月)日本武道館で行われる第39回全国高等学校柔道選手権大会の出場権を得る。 (4) 女子団体上位4チームは次年度総体のシード権を得る。 (5) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。 1. 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場 の許可を得ること。 2. 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可と する。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。) 3. 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。 4. 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書 を提出すること。